

## 1. 略歴

- 1992年3月 東京大学文学部イスラム学専修課程卒業
- 1992年4月 東京大学大学院人文科学研究科イスラム学修士課程入学
- 1994年3月 同修了
- 1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科イスラム学博士課程進学
- 1998年3月 博士（文学）の学位取得
- 1998年4月 東京大学東洋文化研究所研究機関研究員（2000年3月まで）
- 2000年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）（2003年3月まで）
- 2004年4月 神田外語大学外国語学部専任講師
- 2008年4月 神田外語大学外国語学部准教授
- 2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

シーア派思想史

### b 研究課題

9世紀以降のシーア派思想史における「極端派」思想と十二イマーム派、イスマール派の形成過程との関係について研究している。

### c 概要と自己評価

主流シーア派の自己形成、およびそれに呼応する形で成立したアラウィー派、ドゥルーズ派の初期思想について研究し、その成果を一つの研究ノートと三度の口頭発表で公開することができた。研究はおおむね順調に進んでいる。

### d 主要業績

#### (1) 著書

- 共著、大城道則(編著)、『死者はどこへいくのか：死をめぐる人類五〇〇〇年の歴史』、河出書房新社、2017.2
- 共著、市川裕(代表者)、『科学研究費研究助成金基盤研究A ユダヤ・イスラーム宗教共同体の起源と特性に関する文明史的研究 成果報告書 2013-2016年度』、2017.3
- 共著、杉木恒彦・高井啓介(編)、『霊と交流する人びと：媒介者の宗教史 上巻』、リトン社、2017.3
- 編著、菊地達也、『イスラム教の歴史』、河出書房新社、2017.11

#### (2) 論文

菊地達也、『英知の書簡集』の宇宙創成論：「真理の開示」翻訳(1)、『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』、48、227-237頁、2017.3

#### (3) 学会発表

- 国内、菊地達也、「イスラム教のウンマ体制下における諸宗教・諸宗派：イスラム少数派によるキリスト教徒・ユダヤ教徒への宣教」、「基盤A ユダヤ・イスラーム宗教共同体の起源と特性に関する文明史的研究」研究会、東京大学駒場キャンパス、2016.5.14
- 国内、菊地達也、「アラウィー派創始者ハスィービーの思想とその背景」、「中東・北アフリカの少数派再考」東京大学中東地域センター・福山市立大学都市経営学部、共催：科学研究費基盤B「中東・北アフリカ地域のイスラーム圏の少数派と弱者に関する総合的研究」、福山市立大学、2016.7.14
- 国内、菊地達也、「Surviving Strategies of the Druzes」、Studies on Religious and Socio-Political Minority Groups in Middle Eastern Societies, 2nd Meeting、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2017.3.4

#### (4) 会議主催(チェア他)

国内、「日本オリエント学会第59回大会」、実行委員、2017.10.28～29

## 3. 主な社会活動

### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、専修大学、「アジア思想特殊講義3/イスラム思想史2」、2017.9～2018.3

### (2) 学会

国内、日本イスラム協会、『イスラム世界』編集委員長、2016.3～